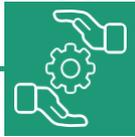


詳しい情報



- 高性能マスクを含むマスクの情報は次をご覧ください：
<http://ph.lacounty.gov/masks>.
- 有給休暇についての情報は次をご覧ください：
<https://www.dir.ca.gov/dlse/Comparison-COVID-19-Paid-Leave.html>.
- COVID-19が原因で失業した、又は勤務時間の削減などは、失業保険給付の対象になる場合があります。次のサイトから申請してください：
https://www.edd.ca.gov/about_edd/coronavirus-2019/workers.htm
- 受け取る権利のある雇用主と政府がスポンサーする追加の休暇給付の情報は、次をご覧ください：
<https://www.saferatwork.la/employees>
- Cal/OSHAに苦情を申し立てるための詳細は次をご覧ください：
<https://www.dir.ca.gov/covid/workplace-issues.html>

ワクチン未接種の労働者の皆さまへ



ワクチン未接種の場合、勤務中に自身を守るために次のステップを行ってください：

1. 雇用主に高性能マスクを提供することを求めましょう。屋内で他者と仕事をしている際、又は他者と車のライドシェアをする際は、常にマスクを着用してください。また、他者と6フィートの距離を確保できない場合は、屋外でも着用しましょう。医療用マスクの着用が不可能な場合は「**二重マスク**」(サージカルマスクの上に布製のマスクを着用する)をお試しください。
2. 可能であれば他の人から6フィート離れた状態で仕事をしましょう。
3. 休憩時間中にマスクを外して飲食する場合、なるべく屋外で休憩してください。屋内より屋外で食事をとる方が望ましいです。マスクを着用していない間は、ワクチン接種が完了していない他の人と6フィートの距離を空けてください。
4. 飲食の前には石鹸で手を洗うか、消毒ジェルなどを使いましょう。顔に触れないでください。
5. 支障がなく安全な場合は、職場の窓やドアを開けておいてください。新鮮な空気の循環により空気中の飛沫を減らし、COVID-19の感染リスクを減らします。



COVID-19対策： カリフォルニア州の 労働者の権利

雇用主には従業員を守るCOVID-19対策義務があります。自分の権利を知りましょう。

Los Angeles County
Department of Public Health
www.publichealth.lacounty.gov
7/22/21 (Japanese)



従業員研修



雇用主は職場でのCOVID-19の拡散を予防する計画を用意してなければなりません。従業員にCOVID-19予防計画の研修をさせ、州の [Cal/OSHA](#) の規制下にある労働者の権利を提供する必要があります。

個人保護具 (PPE)



- ワクチン接種の有無に関わらず、全ての労働者は屋内での仕事や、ライドシェアの車内でフェイスマスクを着用する必要があります。雇用主は勤務中にフェイスマスクを着用することを妨げたり、それに対して報復をすることはできません。他の安全対策が行われている場合、特定の状況では労働者のマスクを着用が免除される場合があります。
- ワクチン未接種の場合、雇用主にN-95マスクなどの高性能マスクを求める権利があります。高性能マスクは通常の布製マスクよりも高い保護力を提供します。
 - 雇用主は正しいサイズの医療用マスクを提供し、マスクをしっかりとフィットさせるために適切な着用法の指示を提供しなければなりません。
 - 高性能マスクは、破損、変形、汚染、又は呼吸がしにくくなった場合に交換する必要があります。各勤務時間の前に取り換えましょう。アメリカ疾病予防管理センターは、医療用マスクを5回付け外した後には交換することを推奨しています。

手洗いに使う時間と石鹸



- 雇用主は石鹸と水、及び/又は手指消毒剤を用意した手洗い場所を提供する必要があります。職場や仕事用の車の中に用意されていなければなりません。
- 雇用主は勤務時間中に従業員が手を洗うのに十分な時間を与える必要があります。

COVID-19検査



雇用主は、仕事にCOVID-19に曝露された可能性があるいかなる従業員に対し、勤務時間中に無料で検査を提供することを義務付けられています。ワクチン未接種で症状がある場合も雇用主は従業員に検査を提供しなければなりません。どこで感染したかに関わらず、検査提供の義務が雇用主にはあります。

有給休暇



- COVID-19に感染した、又は勤務中にCOVID-19に曝露されたために自宅滞在を求められた従業員に対して雇用主は有給休暇を与える必要があります。自宅滞在が必要な期間中でも、基本賃金を支払わなければなりません。
- COVID-19のワクチン接種に行くため、ワクチンの副反応などから回復する期間、COVID-19に感染した、又は検疫している家族の世話をするための有給休暇を得られる場合もあります。

職場でCOVID-19に関する不安がある場合は、どうしたらいいですか？



- 労働組合代表に相談できます。
- Cal/OSHA 833-579-0927で苦情の対応をしております。
- 公衆衛生局 888-700-7995で苦情の対応をしております。匿名での問い合わせで結構です。

自分の権利を知りましょう

7/22/21 (Japanese)

